

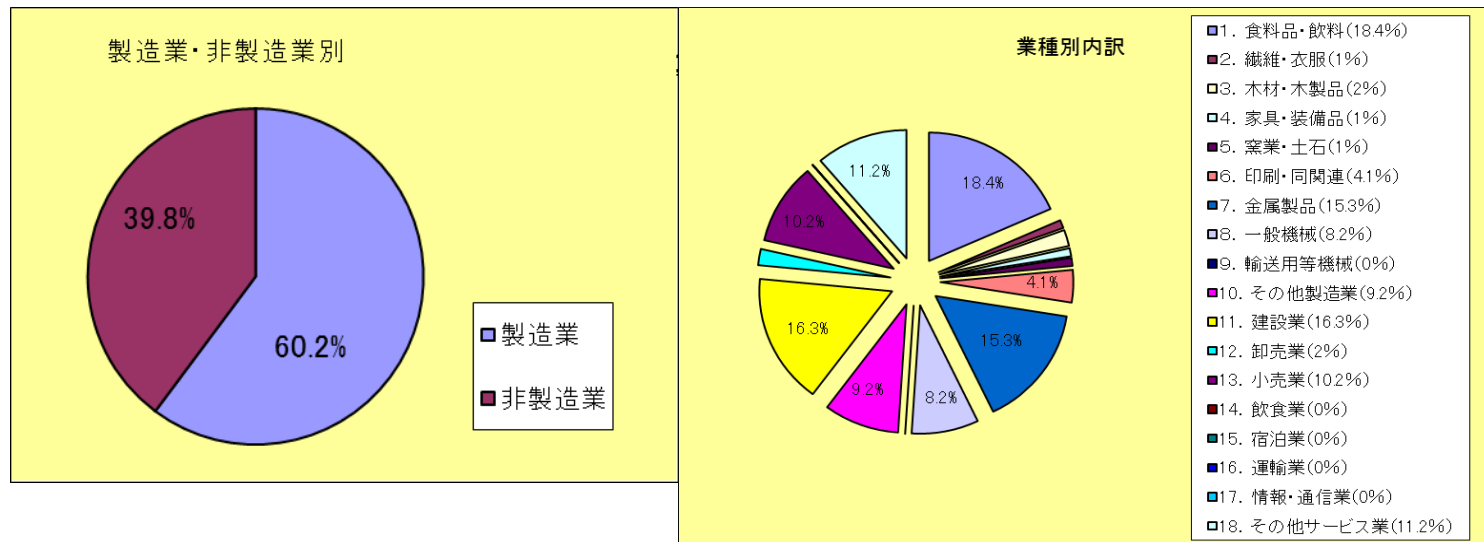
平成25年度
第1回高畠町景況調査結果
(平成25年6月実施)

平成25年8月
高畠町産業経済課

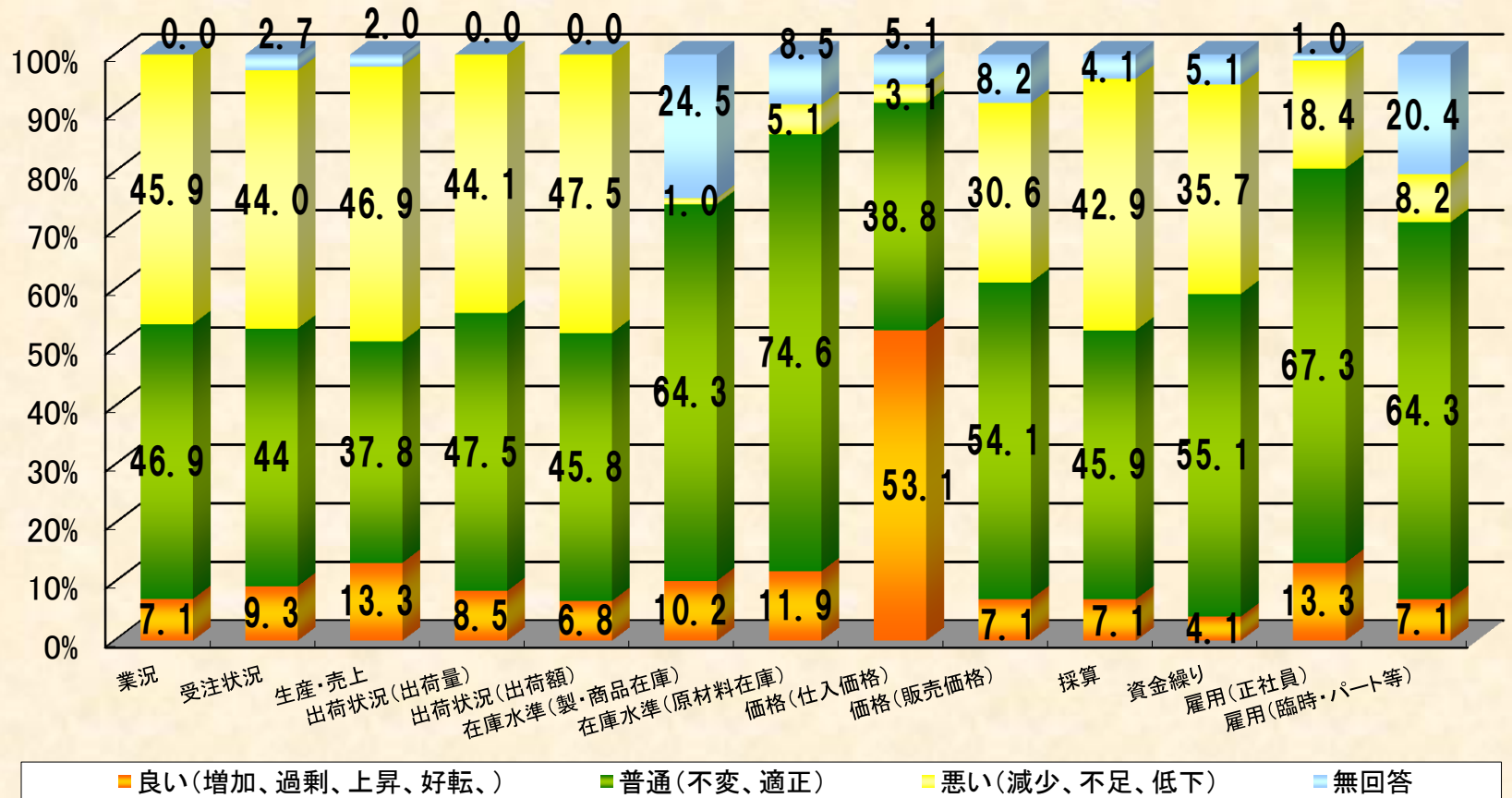


1. 調査概要及び回収結果

1. 調査の目的 町内事業所の現状の景気動向を把握し、地域産業の振興施策を検討する上での基礎資料を得る。特に、東日本大震災後の景気動向と行政、商工会等に希望する支援等を調査する。
2. 実施主体 高畠町、高畠町商工会
3. 調査設計 (1) 標本数：町内事業所(個人事業主も含む)168事業所
(2) 調査方法：調査票の配布(郵送法)、回収(FAX及び持参)
(3) 調査期間：平成25年5月24日～平成25年6月28日
4. 回収結果 98事業所(回収率58.3%)
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用



2. 各設問のデータ比較(%)



3. D.I.から見た景気予測

高島町景況調査(DI)から見た景気情勢(平成25年6月調査)

前回調査(H24.12)では、見通しとして△47.4だった

※DI:景気動向指数(「良い割合」-「悪い割合」等)

高島町産業経済課

| No. | 調査項目 | H21.4~6月期 | 推移 | H21.7~11月期 | 推移 | H21.12~22.5月期 | 推移 | H22.6~22.11月期 | 推移 | H22.12~23.5月期 | 推移 | H23.6~23.11月期 | 推移 | H23.12~24.5月期 | 推移 | H24.6~24.11月期 | 推移 | 今期 DI H24.12~25.5月期実績見込 | 推移 | 来期 DI H25.6~25.11月期見通し |
|-----|------------------|-----------|----|------------|----|---------------|----|---------------|----|---------------|----|---------------|----|---------------|----|---------------|----|----------------------------|----|---------------------------|
| 1 | 業況 | ▲70.1 | ↗ | ▲51.4 | ↗ | ▲42.1 | ↗ | ▲41.3 | ↘ | ▲52.8 | ↗ | ▲12.7 | ↘ | ▲20.5 | ↘ | ▲30.3 | ↘ | ▲38.8 | ↗ | ▲18.4 |
| 2 | 受注状況(製造業・建設業) | ▲80.3 | ↗ | ▲51.0 | ↗ | ▲43.1 | ↗ | ▲26.1 | ↗ | ▲23.6 | ↗ | ▲4.4 | ↘ | ▲13.8 | ↘ | ▲27.1 | ↘ | ▲34.7 | ↗ | ▲8.0 |
| 3 | 生産・売上 | ▲70.1 | ↗ | ▲48.6 | ↗ | ▲31.9 | ↗ | ▲14.3 | ↘ | ▲40.3 | ↗ | ▲3.2 | ↘ | ▲8.2 | ↘ | ▲25.0 | ↘ | ▲33.7 | ↗ | ▲9.2 |
| 4 | 出荷状況【出荷量】(製造業) | ▲70.3 | ↗ | ▲47.0 | ↗ | ▲33.4 | ↗ | ▲10.0 | ↘ | ▲24.4 | ↗ | 9.4 | ↘ | ▲17.5 | ↘ | ▲43.9 | ↗ | ▲35.6 | ↗ | ▲16.9 |
| | 出荷状況【出荷額】(製造業) | ▲67.6 | ↗ | ▲50.0 | ↗ | ▲33.4 | ↗ | ▲10.0 | ↘ | ▲29.8 | ↗ | 3.1 | ↘ | ▲32.5 | ↘ | ▲46.3 | ↗ | ▲40.7 | ↗ | ▲18.6 |
| 5 | 在庫水準【製・商品在庫】 | ▲5.2 | ↗ | 2.7 | ↗ | 2.9 | ↗ | 6.3 | ↗ | 8.3 | ↘ | 3.2 | ↗ | 9.6 | ↘ | 7.9 | ↗ | 9.2 | ↘ | 1.0 |
| | 在庫水準【原材料在庫】(製造業) | 16.2 | ↘ | 11.8 | ↘ | 0 | ↗ | 10.0 | ↘ | 5.4 | ↗ | 9.4 | ↘ | 2.5 | ↗ | 12.2 | ↘ | 6.8 | ↘ | 0.0 |
| 6 | 価格【仕入価格】 | ▲3.9 | ↗ | 2.8 | ↗ | 18.8 | ↗ | 27.0 | ↗ | 32.0 | ↗ | 34.9 | ↘ | 32.9 | → | 32.9 | ↗ | 50.0 | ↗ | 54.1 |
| | 価格【販売価格】 | ▲51.9 | ↘ | ▲52.8 | ↗ | ▲40.6 | ↗ | ▲30.1 | ↗ | ▲26.4 | ↗ | ▲17.5 | ↘ | ▲20.5 | ↘ | ▲21.1 | ↘ | ▲23.5 | ↗ | ▲16.3 |
| 7 | 採算 | ▲70.1 | ↗ | ▲55.5 | ↗ | ▲39.1 | ↗ | ▲27.0 | ↘ | ▲54.1 | ↗ | ▲25.4 | ↗ | ▲24.7 | ↘ | ▲27.6 | ↘ | ▲35.7 | ↗ | ▲20.4 |
| 8 | 資金繰り | ▲50.6 | ↗ | ▲40.3 | ↗ | ▲23.2 | ↗ | ▲23.8 | ↘ | ▲33.3 | ↗ | ▲22.2 | ↗ | ▲20.5 | ↘ | ▲22.4 | ↘ | ▲31.6 | ↗ | ▲13.3 |
| 9 | 雇用【正社員】 | ▲9.1 | ↗ | ▲8.4 | ↘ | ▲10.3 | ↗ | ▲9.6 | ↘ | 1.4 | ↘ | ▲11.1 | ↗ | 12.3 | ↘ | ▲2.6 | ↘ | ▲5.1 | ↗ | 7.1 |
| | 雇用【臨時・パート社員等】 | ▲15.6 | ↗ | 1.4 | ↘ | ▲5.8 | ↗ | 7.9 | ↘ | ▲5.5 | ↗ | 0.0 | ↗ | 16.4 | ↘ | 1.3 | ↘ | ▲1.0 | → | ▲1.0 |

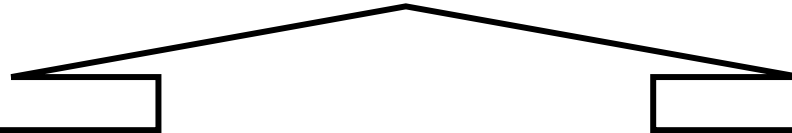
| 参考 | 設備投資 ※「実施」、「実施予定」の事業所割合 | 平成20年度実施 | 平成21年度実施 | 平成22年度実施 | 平成23年度実施 | 平成24年度実施 | 平成25年度実施予定 | | | |
|----|----------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|------|---|------|
| | | 22.1 | ↗ | 39.1 | ↘ | 27.0 | ↗ | 28.9 | ↘ | 22.4 |

大幅に上昇

ほぼ下落の中、出荷状況のみ上昇の傾向

4. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は、原材料の高騰や円安の影響により、前期から下降しているが、一部で下げ止まりの兆しがみられる。



- (1) 業況D.IIについて、前期(▲30.3)から今期(▲38.8)と8.5ポイント悪化した
が、前期に比べ、出荷状況が改善しているものの円安等により仕入価格が上
昇しており、採算性が悪化している。来期見込みでは、引き続き仕入価格が上
昇するものの、受注、生産、出荷状況が大幅に改善し、採算についても改善す
る見込みとなっており、期待感がうかがえる。
- (2) 雇用D.IIについて、正社員(前期▲2.6から今期▲5.1)、臨時・パート社員等
(前期1.3から今期▲1.0)ともに減少となった。これは前期での業況が雇用面
にも波及した結果と考えられる。また、来期では、7.1と改善が見込まれている。

5. 事業所、業界の動向

| No. | 良い | 悪い | その他 |
|-----|------------------------------|--|--|
| 1 | | 小売店の減少等で、販売先がスーパーのみで、主に取扱いの店が少なく、売り上げは減少。廃業する同業者が出る現状です。 | |
| 2 | | 円安による原料価格の上昇、デフレが解消していないので製品価格の値上げができない。 | |
| 3 | | 取引先の業況不振により受注減少 | |
| 4 | | 不安定である。格差社会なのか。 | |
| 5 | | 以前として受注困難が続いている。 | |
| 6 | | 業界全体で言えるが、大手から中小零細企業へのコストダウン要請が厳しいし、今後も続くと思われます。 | |
| 7 | | 団体観光客の入れ込み状況に回復の兆しがみられない。風評被害が長期化しそう。 | |
| 8 | | | ようやく下げ止まり |
| 9 | | | 円安により原燃料価格が上昇しており、コストアップへの対応が課題である。昨年6月より売上高が前年比マイナススペースになっていたが、一巡し、前年並みのベースに戻ってくると思う。 |
| 10 | | | アベノミクスにより公共工事が増加したことにより業況はいいが、集中しすぎていると思う。 |
| 11 | | | 工場整備(新社屋建設)中です。ご協力いただきありがとうございます。 |
| 12 | | | 月によって若干の変動はあるが、前期比横ばいである。 |
| 13 | | | 今期は一部業界を除き、設備投資は低迷していたが、来期については期待したい。(アベノミクス効果) |
| 14 | ここ最近の円安効果で、海外向けの生産が多少出てきました。 | 製本業界が先細りのため、新台製品の受注は、年々減少しています。 | |
| 15 | | H25.4~6月第一四半期は、受注が低迷している。 | 第二四半期以降の物件受注に規定している。 |
| 16 | | | 来期の予定はたてられません。数日先の仕事の積み重ねですから。 |
| 17 | 上昇中 | | |
| 18 | | | 原材料価格の上昇に伴い、販売価格の改訂の話題が出始めている。積極的理由によるものではないだけに、取引先との交渉にも力が入らないことが予想される。 |

| No. | 良い | 悪い | その他 |
|-----|--------------------------------------|---|---|
| 19 | 新商品等で、新しい得意先が増加してきている。 | | |
| 20 | | 円安で原材料は高くなっている。消費税も心配の要因 | |
| 21 | | | アベノミクスで期待しています。 |
| 22 | 好調 | | |
| 23 | | 採算がとれる状態ではなく、依然として厳しい状況です。 | |
| 24 | | 今後、厳しい状況は変わらない。 | |
| 25 | | 農産物の消費低迷、価格下落は、今年も続くと思われる。 | |
| 26 | | | 薄利であるので、経費の節減、見直しに力を入れた(人件費除く) |
| 27 | | 景気回復はあるのでしょうか？いつ頃になるのか？ | |
| 28 | | 頭うち状況が続いています。 | |
| 29 | 震災関連業務が多く、当業界においては、今年度もよい方向だと想定している。 | | |
| 30 | | 高島町は、工事が10年前の5分1です。仕事が少ないので、正社員は少なくして、臨時・パートを使っております。 | |
| 31 | | | 高齢化の背景に件数(仕事)は増える見込みだが、消費者ニーズの高まり(簡素化)に伴い、平均単価の下落で横ばい傾向 |
| 32 | | 受注は減少し、今後(一ヶ月先)の見通しも分からないので大変です。 | |
| 33 | | 業界全体が悪化しています。 | |
| 34 | | 来店者数減少により、店売も減少している。 | |

6. 行政や商工会等への要望事項

| No. | 要望事項 |
|-----|--|
| 1 | 資金繰り |
| 2 | いつもご指導、ご協力を賜り、ありがとうございます。 |
| 3 | まだまだ国からの雇用安定助成金を受給している状態なので、社員は先行きに不安を抱えています。町内企業の景気や雇用状況等気になるところで |
| 4 | 情報等ございましたら、よろしくお願ひいたします。 |
| 5 | 外部講師の手配よろしくお願ひします。 |
| 6 | 連携した事業 |
| 7 | 当町の生産力、品質の高さを有利、安定した販路拡大に尽力願ひたい。「地場消費の拡大も含めて」 |
| 8 | 当町に本店をおく会社の優先を実施してほしい。 |
| 9 | 町発注工事は地元にお願ひします。他の市町村役所に行っても地元業者優先で仕事を受注できません。 |
| 10 | 数多い助成金等は、部分ではなく、町全体を快適で賑わいのある地域づくりの推進に。実効性の高い、息の長い産業振興策の推進を。 |
| 11 | 金利の安い融資の情報をもっと宣伝して、知識を得る方法を教えてほしい。 |
| 12 | この手のアンケート調査目的を明確にしていきたい。「次の対応策を探るべく…」だけの目的ならば意味が薄く、グラフ化して終わるお粗末な調査です。平成20年から継続した結果の具体的な対応策をそろそろ発表してください。 |
| 13 | もう少し地元の店を利用してほしい。(注文がありません。) |